

別表(一)に見ゆる如く研究会は全地域別  
 一全支部に同一で実施した。其の内容等、  
 支部の改善を用いた事は勿論在れども漸と  
 其の共々的の事を考へたる。

〔労働学校の奨励促進〕

組合同盟教育新計画より、教育方針と  
 して、労働学校、奨励促進講座新設すること  
 となり、上原成校長として、中央労働学校  
 送り出し、秋川川口支部に於て第一面を  
 先行し、川口労働学校成績、三月五日より  
 一月十日まで七日間開講、講師、上原成、  
 川口、織本、望月氏、岡田氏、課目注、  
 労働組合論、無産者経済学、労働史、社会  
 思想史、運動方針解説等、入学者は三十四  
 名、修業者は十三名を挙げた。  
 大島労働学校も六が第八区第九区中心の教

育下あり、入学者は十四名、殆ど全  
 せり好成績を挙げた。  
 労働学校中内講は今後組合同盟と協力し  
 て一層發展学校に努むる方針がある。

三

プリントによる教育の普及は、組合同盟  
 教育部としても兼てより研究する所とす。  
 期中には全紙にせず、従って各同教育部に  
 して、十二日二十四日プリント製作發行の  
 決定せしむる之が實現を現存かへたことは、  
 憾であつた。

然し之を研究会の成績に見れば其の回数と、  
 参加人員との増大はかつて見ざる程の上成  
 績を挙げたる。

區別研究会成績表

区	支部	参加人員
第一区	支部聯合	一〇
第二区	〃	一四一
第三区	〃	九九
第四区	〃	六五
第五区	〃	五二
第六区	〃	八〇
第七区	〃	七〇
第八区	〃	三〇六
第九区	〃	二二四
第十区	〃	三〇
第十一区	〃	八五
第十二区	〃	五
川口支部	約三四	不明
合計	八六	一一四二

最後に、組合同盟の機関紙發行時に合併

進延ありしことは、之を支部聯合上  
 難に見るばかりでなく、教育上からも甚  
 疎略をせざる慮り、五月六日の合同執行  
 委員会の中倉士を以て、工場と鉾山の合併  
 等發行反対、予算と困難の場合は頁枚減少  
 しても定期發行せしむるべき旨を申し入れた  
 同盟に於ても其の方針を取るとの回答あり  
 たれば、東年度は、相当の成績を挙げ得る  
 ことと期待してあり。